

て ん 末 書			
会議等の名称		第2回幌延町まち・ひと・しごと創生会議	
実施年月日	令和2年2月25日	場 所	幌延町役場 2階大会議室
			時 間
			13:30~16:00
出席者	計18名（詳細は別紙参照）		
	委員~7名、オブザーバー~5名		
	町~4名（藤田課長、角山主幹、山下主幹、久保田主任）		
	委託事業者~2名		
議事次第			
1. 開会~一関委員長より開会あいさつ			
2. 話題提供：道の駅の現状について【資料1】			
稚内開発建設部道路計画課 高野道路調査官			
・北海道道の駅登録数~125駅 ※2018年利用者 3,900万人/2013年総売上 約60億円			
・道の駅第3ステージ~「地方創生・観光を加速する拠点」			
⇒インバウンド観光拠点、防災機能を備えた安心拠点、地域活性化の拠点			
・重点「道の駅」~地方創生や地域活性化の拠点形成等を目指した企画提案の公募			
⇒選定「道の駅」に対し、ハード・ソフト面への支援			
○「道の駅」は地域活性化に有効な施策であり、町の拠点となり得る施設。			
財政支援も重要ではあるが、地域に必要な施設であることが大切。			
3. 道の駅視察報告【資料2】			
事務局（角山主幹）から平成30年度（剣淵、名寄）及び令和元年度（浜頓別、天塩）の視察結果について報告			
4. 幌延町での道の駅検討に関する考え方【資料3他】			
事務局（藤田課長）から幌延町における道の駅のあり方、機能等について提案			
・利用の多い道の駅とは~清潔なトイレ、良景観、情報の充実、おいしい食べ物			
・幌延町で道の駅を成功させるためには~地域への効果・利用者ニーズ			
・市街地（幌延駅付近）に道の駅を整備した場合~求められるであろう機能			
⇒特産品販売、風呂（シャワー）、コインランドリー、コンビニ			
・来年度の取り組み~道の駅視察、意見のとりまとめ			
5. 休憩			

6. 意見交換・ワークショップ

2グループに分かれ、幌延町に道の駅を整備し、成功するために必要となる機能・役割・要素等について意見交換

7. 各グループからの意見交換結果の発表

【意見概要】※詳細～別紙のとおり

○道の駅の整備目的

- ・町民、近隣住民、観光客の交流施設 ⇒ 「まちなか」に立地したほうが効果が高い

○道の駅の機能

- ・基本：軽食、売店、観光案内、催事スペース、地域情報の発信
- ・高齢者向け：風呂、軽運動スペース、サロン
- ・子ども向け：遊びの空間（遊具）
- ・その他：交通拠点（JR、バス、自転車等）、リアルタイムモニター、ドッグラン、菜園、直売所、車中泊支援機能、遊覧船（天塩川）

○道の駅での食

- ・ソフトクリーム、ジェラート（ミズナラ、ブルーベリー風味）
- ・ジビエ（黒毛和牛、ロマノフ、合鴨、トナカイ、馬）を活用した食品
焼き鳥、焼き肉、鴨そば、ジンギスカン、缶詰、ザンギ、ウインナー
- ・ミズナラ樽ワイン、純米酒
- ・地元農産品（いも、山わさび）
- ・近隣市町村や利尻礼文の特産品を集めて販売
- ・お菓子（幌延オリジナルパッケージ）

以上